

## 集中講義「島のしくみ」レポート

工学部海洋土木工学科 田原圭祐 学籍番号：2511250279

今回【島のしくみ】で実際に与論島に行って、与論島を活性化させるにはどうしたら良いか？という課題に対して私の意見を述べたいと思います。

まず与論島は観光地であり海が綺麗だということが一番の魅力だと私は感じました。それなのに海や浜辺の近くに宿泊施設があまりないと思います。島自体がそんな大きな島ではないので移動はそんなに苦では無いと思いますが、ホテルのベランダや窓から綺麗な海を一望できたら素晴らしいと思います。また、港のほうは建物も多くあって活気もありますが百合ヶ浜など西のほうに行くと建物がほとんど無く、百合ヶ浜のある大金久海岸の入り口も木で見えにくい場所にあり与論島の中でも特に綺麗な場所だと思うので、自然を壊してまでとは言いませんが、もう少し目立たせてもいいと思います。講義で副町長さんの話を聞いて、与論島は川がなくて赤土の被害が他の離島よりも少なく、その分海が綺麗だということや海中や百合ヶ浜での挙式など初めて知りました。しかも、挙式は安くでできるということで、そういうところもアピールしていけばいいと思います。また、代表的なお土産や特産品がないとも思いました。ちんすこうなどは、おいしかったのですが、沖縄のお土産という印象が強いですし、なにか与論島の食材、例えば黒糖やもずく、さといもなどを使ったお菓子を作ってそれを広めていけばいいと思います。あと、魚など魚介類の刺身や料理はとてもおいしかったし、今回は台風の影響で獲りに行くことができなかつたらしく私は食べるができなかったウツボや太刀魚など珍しい魚を食べることができるということも魅力の一つだと思います。

次に、観光協会長さんが今取り組んでいるという女子サッカーの合宿場としての誘致は実際にできたら有名になると思います。鹿児島や沖縄は春に野球やサッカーのキャンプ場としてテレビにとりあげられることが多いので私も何かのスポーツのキャンプ場として与論島を利用することができるのではないかと与論島について考えたときに思いつきました。なので、施設・設備を早く整えて誘致できたらいいと思います。また、与論島で大きなお祭りをやるというのもいいと思います。私の地元のお祭りでは、地元の牛を使って牛の丸焼きをして、それを来場者に配布するというイベントを行っています。牛の丸焼きやマグロの解体ショーなど大きなイベントは人の気を引くのに有効だと思います。なので、与論島でも地元の食材を使った大きなイベントを一つ用意して、それを中心にした大きなお祭りをひらけば観光客が増えるのではないかと思います。あと、民俗村のような体験学習はとても貴重な体験になりますし、私は見てただけでもとても興味をもてたので、そういう伝統的な技法が体験できるということももっとアピールしてほしいです。さらに、与論島の珍しい漁の仕方も、難しいだろうけど体験できたらいいと思います。また、観光客が与論島に行きにくい理由に飛行機代が高いという問題もあると思います。フェリーだと 20 時間もかかり地

形的にも不利だと思います。他の離島や沖縄と協力して格安ツアーを組んだりしたほうがいいと思います。もしツアーを組めたら、他の離島よりも印象を強くするために与論島独自の特産品や伝統的な技法を上手く伝えなければならないと思います。なので、やはり特産品のお土産、与論島といったらこれ!!と思われるものをつくる必要があると思います。有泉は有名ですが、家族や友達へのお土産だったらいいと思いますが、お酒を飲めない人や勤務先のお土産としては少し違うと思うので、多くの人に、誰にでも渡せるお土産が必要だと感じました。

私は、与論島など鹿児島県の離島は海がきれいなだけのところだと思っていました。ですが、今回の講義で与論島について知らないことだらけだということがわかりました。実際に行ってみると講義でありながらとても楽しい5泊6日でした。私のように与論島について詳しく知らない人は多いと思います。だから、人の出入りが多い鹿児島中央駅に与論島のポスターを貼ったりしてもっと多くの人に与論島のことを知ってもらえるのが大事だと思います。一回でも実際に与論島に行ったら素晴らしい場所だと分かってまた行きたくなる人がいると思います。私も次はプライベートで旅行して、ダイビングなど与論島を満喫したいと思いました。

以上が私の考える与論島を活性化させる方法、特に観光客を増やす方法です。予算や島の情勢について何も知らない私が考えたことなので無理なことを言っているかもしれませんが、少しでもお役にたてたら嬉しいです。